

## 選者紹介



沖 ななも（おき ななも）「熾」代表

昭和二十年茨城県生

現代歌人協会会員 埼玉県歌人协会会长

歌集『衣裳哲学』『三つ栗』『白湯』ほか

エッセイ『神の木 民の木』ほか

未使用の時間たっぷりあるみどりご思う存分眠りつつける



佐佐木定綱（ささき さだつな）「心の花」会員

昭和六十一年東京都生

「神奈川新聞歌壇」選者

歌集『月を食う』

詳細な死体の描写に日が差してしおりのぬめる脂を拭う



松村 正直 (まつむら まさなお)

昭和四十五年東京都生

国際啄木学会会員 N H K学園短歌友の会選者

歌集『午前3時を過ぎて』『紫のひと』など

歌書『戦争の歌』『踊り場からの眺め』など

ふたたびを高速道より海見えて沖にひかりの帯はかがやく



米川千嘉子 (よねかわ ちかこ) 「かりん」編集委員

昭和三十四年千葉県生

「毎日歌壇」選者

歌集『夏空の權』『たましひに着る服なくて』『あやはべる』

『牡丹の叔母』『雪岱が描いた夜』など

デコピンは走る没落期日本のオオタニといふ神に仕へて

全作品の名前を伏せて、全選者にそれぞれ特選・秀作・佳作作品を選んでいただきました。